

シンポジウムの開催

平成 23 年度の取り組み成果を共有し、平成 24 年度以降の栗生線の利用促進を誘導する施策の取り組みのキックオフとすることを目的として、シンポジウムを開催した。

(1) 目的

神戸電鉄栗生線の活性化を目指し、栗生線がなくなれば改めて実感すると見込まれる地価の値下がり等の情報を提示することにより、栗生線の問題とは沿線に関わる各々の生活の問題であることの「気づき」を促し、栗生線を残していくために自分ができることを考えることを通じて、参加者各自に行動変容のきっかけを提供することを目的とする。

(2) 概要

開催概要は以下のとおりである。

- 日時:平成 24 年 2 月 19 日(日)(開場:12 時 30 分) 13 時 00 分～16 時 00 分
- 場所:三木市文化会館 小ホール(席数 537 席)
- 主催:神戸電鉄栗生線活性化協議会
- テーマ:乗って残そう 栗生線のある未来の生活

(3) 開催内容

京都大学大学院特定教授であり、栗生線活性化協議会座長を務める土井勉教授より「持続可能な公共交通と栗生線の活性化」と題した基調講演や、栗生線沿線の小野高等学校、三木東高等学校や岡山市を中心に活動されている「NPO 法人公共の交通ラクダ」の岡理事長による取り組み報告の他、沿線住民代表や学識経験者を交えたパネルディスカッション形式での議論を行った。なお、休憩時間は、栗生線活性化協議会の取り組みを紹介したポスターや沿線情報のパネル提示の閲覧や、来場者向け TFP アンケートの回答時間とした

プログラム詳細

13:00 開 会	北井 信一郎	栗生線活性化協議会会長・三木市理事
13:05 基調講演	「持続可能な公共交通と栗生線の活性化」 土井 勉	京都大学大学院特定教授・栗生線活性化協議会座長
13:50 取り組み報告	小野高等学校 三木東高等学校 RACDA 岡会長	ラジオドキュメント作品「線路はどこまでも続かない」 経営アントレプレナー等の取り組み RACDAの取り組み紹介
14:25 休憩・パネル展示鑑賞		
14:35 パネルディスカッション	コーディネータ パネリスト	土井 勉 安福 恵子 多鹿 豊 中野 美都子 岡 将男 正司 健一 三津澤 修 北井 信一郎
		京都大学大学院特定教授・栗生線活性化協議会座長 三木市区長協議会連合会会長 小野市商店街理事 神戸市西区押部谷町連合自治協議会副会長 NPO法人公共の交通ラクダ 理事長 神戸大学大学院 経営学研究科 教授 神戸電鉄株式会社 常務取締役・鉄道事業本部長 栗生線活性化協議会会長・三木市理事
16:00 閉 会		

(5) 開催状況

当日は三木市内をはじめ小野市、神戸市などから313名の方に参加いただいた。



(6) 来場者 TFP の実施

6 章にて述べた住民を対象に作成したコミュニケーション・アンケートをベースに、シンポジウム来場者を対象とした TFP を実施した。

ア 調査概要

受付にて来場者に配布する資料の一部として、アンケート調査票を同封し、休憩時間中の回答を要請した。

イ 配布数及び回収枚数

来場者 3 1 3 人に調査票を配布し、2 2 2 人から回答を頂いた。

ウ 調査票

①表

神戸電鉄粟生線活性化シンポジウム・来場者アンケート

本日はご来場いただき、誠にありがとうございます。

このアンケートの一部はパネルディスカッションの後半にご紹介させていただきます。

ぜひとも、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※あてはまる□に ☒ を、_____ には数字を、() には文章をご記入ください。

問1 あなたご自身の日頃の移動(平日の通勤・通学・買物・通院、休日のレジャー等)についてお聞きします。

● それぞれの交通手段をどのくらい使っていますか？

※ 「0回」の手段については、空欄で結構です。 (記入例) ☒ 週に ☐ 月に 3 回程度

① 「クルマ」を使った外出が

☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度

② 「神鉄」を使った外出が

☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度

● ご自宅の最寄りの神戸電鉄粟生線の駅名をご存じですか？

※ 粟生線沿線以外からお越しの方は問2にお進みください

☐ 知っている (駅名 _____) 駅

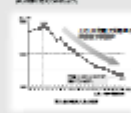
☐ 知らない

● ご自宅からその最寄り駅まで徒歩何分くらいですか？

約 _____ 分

粟生線が
なくなる日！?

神戸電鉄が「粟生線」を廃止する可能性について、
地元住民や関係者から意見を募集しています。
詳しくは、この冊子をご覧ください。



問2 同封の小冊子「粟生線がなくなる日!」をご一読ください。

小冊子の情報はいかがでしたか？	全く関心なし あまり関心なし 少し関心あり とても関心がある ☐ ☐ ☐ ☐
わたしたちが利用しないままだと「粟生線がなくなる日」が来るかもしれないことをご存知でしたか？	☐ 知っていた ☐ 知ってはいたが、実感はなかった ☐ 全く、知らなかった
あなた自身は、「粟生線」が必要だと思いますか？	強く不要 不要 必要 強く必要 ☐ ☐ ☐ ☐
あなたの家族や、地域にとって、「粟生線」が必要だと思いますか？	強く不要 不要 必要 強く必要 ☐ ☐ ☐ ☐

● 少し無理をしても、「粟生線」を今よりも利用してみるのもいいかと思いますが？

- ☐ 絶対に、思わない
☐ 少しなら、そう思う
☐ そう思う
☐ とても強く、そう思う

裏面に続きます。

②裏

問3「粟生線」を利用する方法には、いろいろなものが考えられます。
以下のそれぞれについて、考えてみてください

● 平日の通勤・通学で「粟生線」を利用することは可能ですか？

☐ 利用できる／もっと利用できる →どの程度利用できそうですか？

☐ 利用することはできない

今よりも ☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度なら増やせそう

☐ 通勤(登校)していない



クルマよりも時間がかかる場合もあるかもしれませんが、
粟生線に乗って読書をしたり、電車での移動を楽しんでみませんか？

● 平日の外出(買物・通院など)で「粟生線」を利用することは可能ですか？

☐ 利用できる／もっと利用できる →どの程度利用できそうですか？

☐ 利用することはできない

今よりも ☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度なら増やせそう

☐ 平日に外出をしない

☐ 平日に粟生線を利用して外出する目的がない



粟生線に乗って普段行かないお店を
見つけてみませんか？

● 休日の外出(レジャーなど)で「粟生線」を利用することは可能ですか？

☐ 利用できる／もっと利用できる →どの程度利用できそうですか？

☐ 利用することはできない

今よりも ☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度なら増やせそう

☐ 休日に外出をしない

☐ 休日に粟生線を利用して外出する目的がない



休日は粟生線に乗って
グルメの旅に出かけてみませんか？

問4「粟生線」を残すために、あなたご自身はどんなことができそうですか。

問5 あなたご自身のことについてお聞きします。

性別	☐ 男性 ☐ 女性
年齢	☐ 10歳代 ☐ 20歳代 ☐ 30歳代 ☐ 40歳代 ☐ 50歳代 ☐ 60歳代 ☐ 70歳以上
居住地	☐ 神戸市 ☐ 三木市 ☐ 小野市 ☐ その他()

粟生線活性化に向けて、地域住民参加型の活動を検討しています。
そうした活動にご関心をお持ちの方は、後日、案内通知を送付させていただきますので
住所・氏名をご記入ください。 ※ご記入いただきました個人情報はその他の目的には一切使用いたしません。

お名前	
ご住所	※ 確実にお届けするために番地名、アパート・マンション(建物名)まで正確にご記入ください。 〒□□□-□□□□

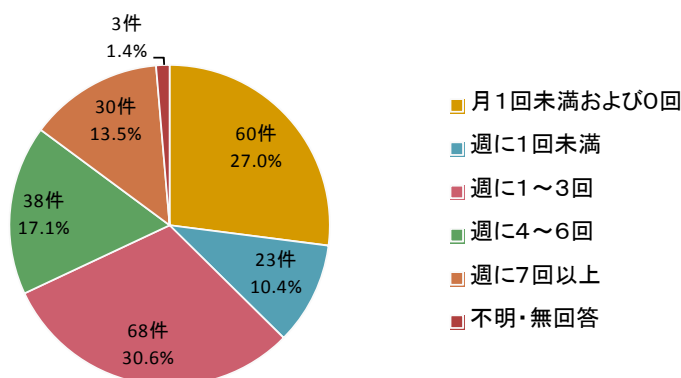
ご協力ありがとうございました。休憩時間(14:25～14:35)に会場内や会場入口付近の係員にお渡しください。

エ 集計結果

来場者アンケート調査の各設問とその調査結果は以下の通りである。

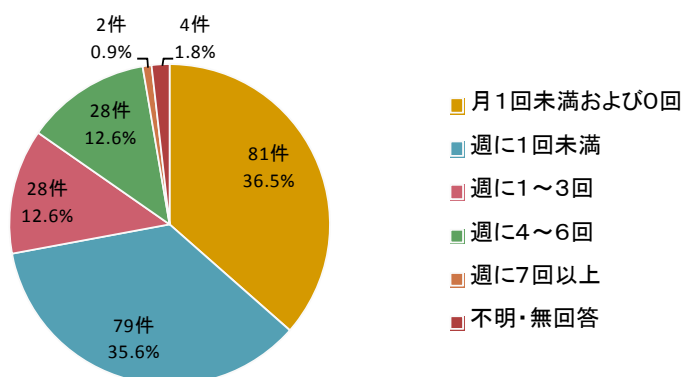
(ア) クルマの利用頻度

「それぞれの交通手段をどのくらい使っていますか？(クルマ)」については、「週に1～3回」が68件で30.6%と最も多く、次いで「月1回未満および0回」が60件で27.0%、さらに「週に4～6回」が38件で17.1%と続いている。



(イ) 神戸電鉄の利用頻度

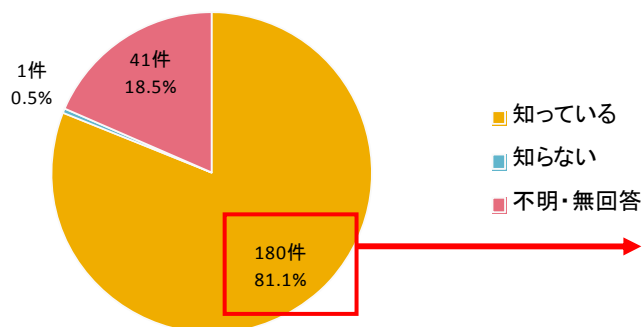
「それぞれの交通手段をどのくらい使っていますか？(神鉄)」については、「月1回未満および0回」が81件で36.5%と最も多く、次いで「週に1回未満」が79件で35.6%、さらに「週に1～3回」「週に4～6回」が28件で12.6%と続いている。



(ウ) 最寄りの神戸電鉄粟生線の駅

「ご自宅の最寄りの神戸電鉄粟生線の駅名をご存じですか？」では、「知っている」が180件で81.1%、「知らない」が1件で0.5%となっている。

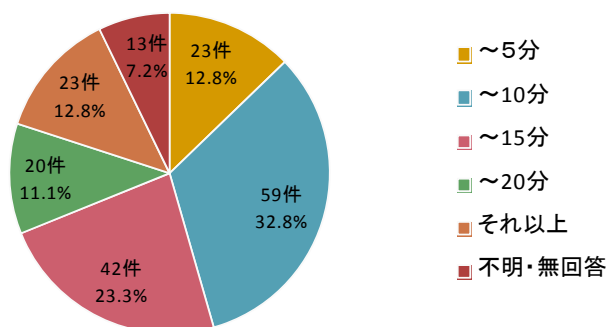
「ご自宅の最寄りの神戸電鉄粟生線の駅名」について比率の高い項目の上位3位をみると、まず、「志染」が51件で28.3%と最も多く、次いで「緑が丘」が24件で13.3%、さらに「三木」が21件で11.7%と続いている。



新開地	2件
鈴蘭台	2件
鈴蘭台西口	1件
西鈴蘭台	3件
木津	2件
木幡	1件
栄	6件
押部谷	9件
緑が丘	24件
広野ゴルフ場前	8件
志染	51件
恵比須	13件
三木上の丸	9件
三木	21件
大村	1件
樫山	4件
市場	0件
小野	10件
葉多	2件
粟生	4件
不明・無回答	7件
合 計	180件

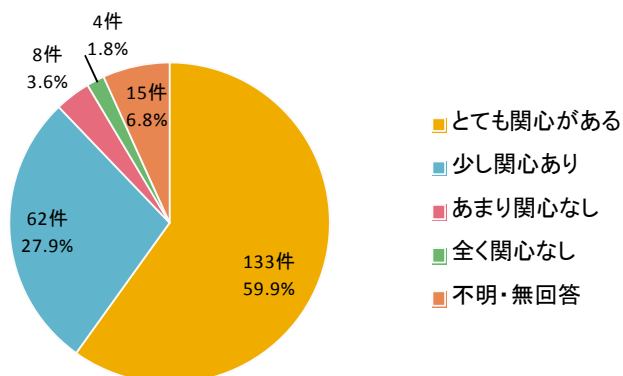
(エ) 最寄り駅までの所要時間

「ご自宅からその最寄り駅まで徒歩何分くらいですか？」については、「～10分」が59件で32.8%と最も多く、次いで「～15分」が42件で23.3%、さらに「～5分」「それ以上」が23件で12.8%と続いている。



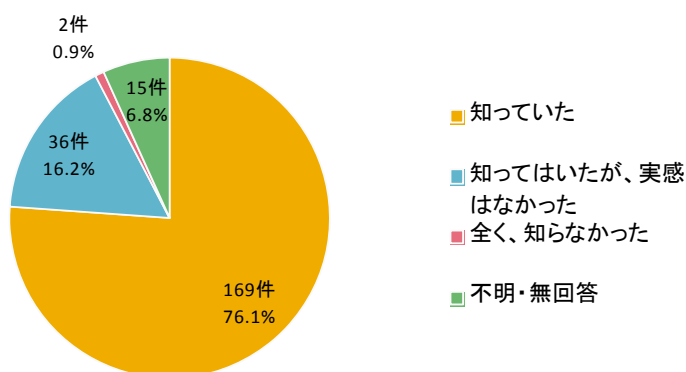
(カ) 小冊子の情報についての感想

「小冊子の情報はいかがでしたか？」については、「とても関心がある」が 133 件で 59.9%と最も多く、次いで「少し関心あり」が 62 件で 27.9%、さらに「あまり関心なし」が 8 件で 3.6%と続いている。



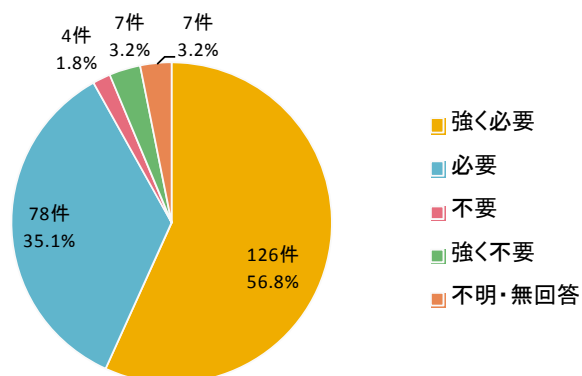
(カ) 「栗生線がなくなる日」が来るかもしれないことについて

「このままでは「栗生線がなくなる日」が来るかもしれないことをご存知でしたか？」では、「知っていた」が 169 件で 76.1%と最も多く、次いで「知ってはいたが、実感はなかった」が 36 件で 16.2%、「全く、知らなかった」が 2 件で 0.9%と続いている。



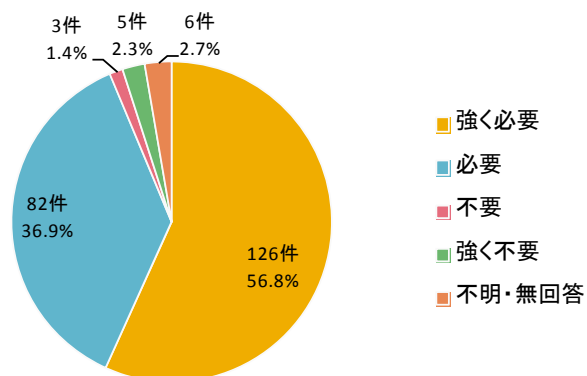
(キ) 栗生線の必要性（回答者自身）

「あなた自身は、「栗生線」が必要だと思いますか？」については、「強く必要」が126件で56.8%と最も多く、次いで「必要」が78件で35.1%、さらに「強く不要」が7件で3.2%と続いている。



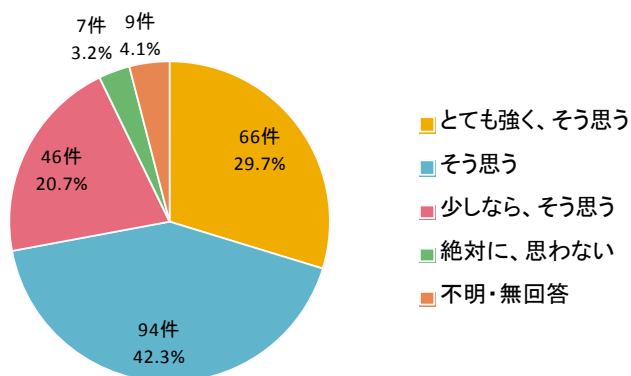
(ク) 栗生線の必要性（家族・地域）

「あなたの家族や、地域にとって、「栗生線」が必要だと感じますか？」については、「強く必要」が126件で56.8%と最も多く、次いで「必要」が82件で36.9%、さらに「強く不要」が5件で2.3%と続いている。



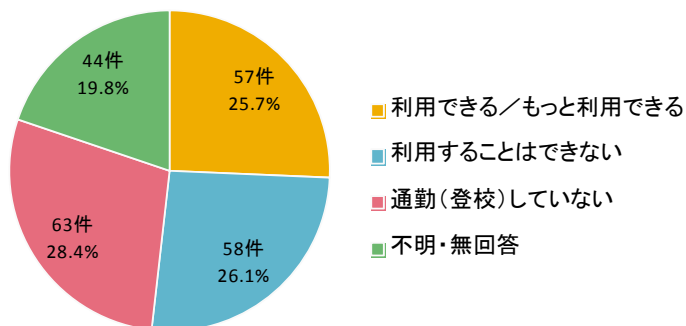
(7) 栗生線の利用意向

「少し無理をしても、「栗生線」を今よりも利用してみるのもいいかもしれないと思いますか？」については、「そう思う」が 94 件で 42.3%と最も多く、次いで「とても強く、そう思う」が 66 件で 29.7%、さらに「少しなら、そう思う」が 46 件で 20.7%と続いている。



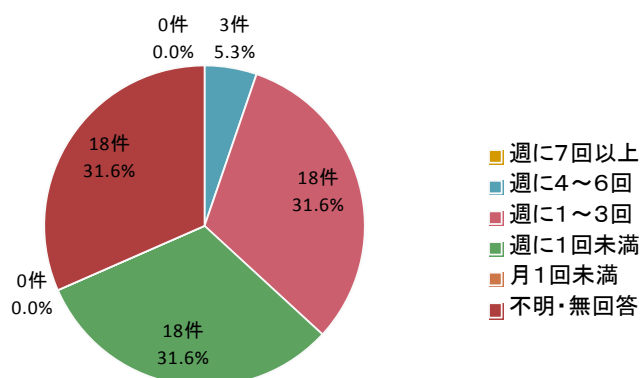
(8) 通勤・通学における栗生線の利用意向

「平日の通勤・通学で「栗生線」を利用することは可能ですか？」では、「通勤（登校）していない」が 63 件で 28.4%と最も多く、次いで「利用することはできない」が 58 件で 26.1%、「利用できる／もっと利用できる」が 57 件で 25.7%と続いている。



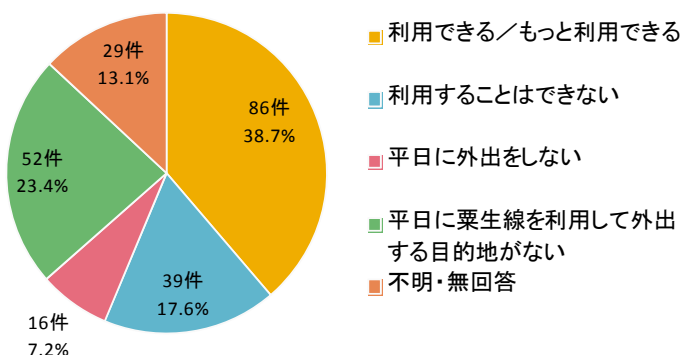
(㉞) 通勤・通学において栗生線を利用できそうな頻度

「どの程度利用できそうですか？」については、「週に1回未満」「週に1～3回」が18件で31.6%、次いで「週に4～6回」が3件で5.3%と続いている。



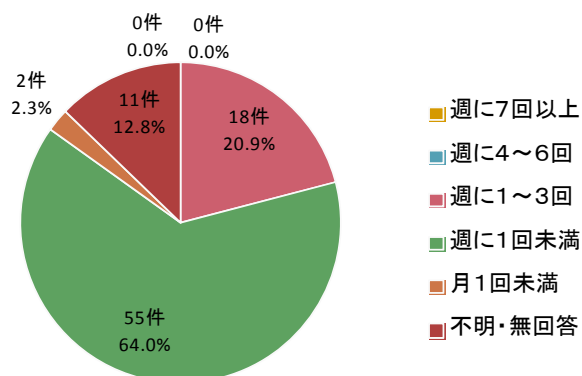
(㉟) 平日の外出（買物・通院など）における栗生線の利用意向

「平日の外出（買物・通院など）で「栗生線」を利用することは可能ですか？」については、「利用できる／もっと利用できる」が86件で38.7%と最も多く、次いで「平日に栗生線を利用して外出する目的がない」が52件で23.4%、さらに「利用することはできない」が39件で17.6%と続いている。「平日に外出をしない」は最も少なく16件で7.2%となっている。



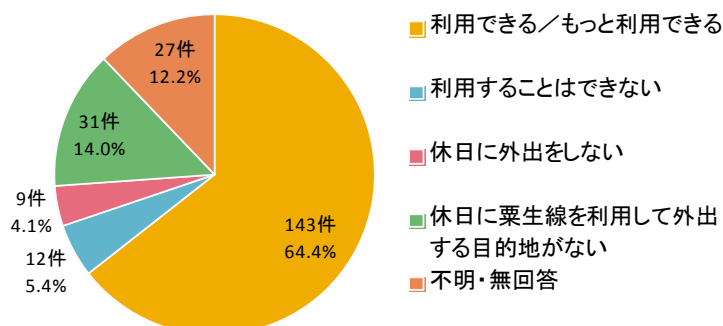
(ス) 平日の外出（買物・通院など）において粟生線を利用できそうな頻度

「どの程度利用できそうですか？」については、「週に1回未満」が55件で64.0%と最も多く、次いで「週に1～3回」が18件で20.9%、さらに「月1回未満」が2件で2.3%と続いている。



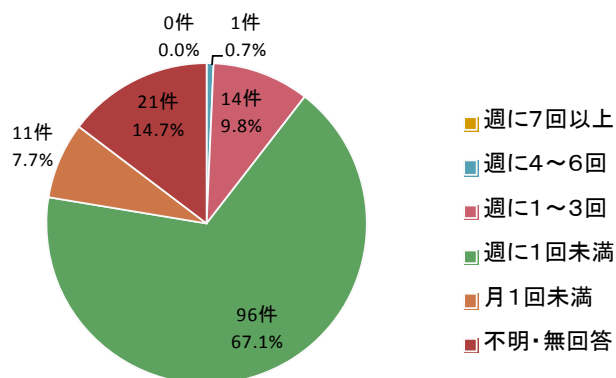
(セ) 休日の外出（レジャーなど）における粟生線の利用意向

「休日の外出（レジャーなど）で「粟生線」を利用することは可能ですか？」については、「利用できる／もっと利用できる」が143件で64.4%と最も多く、次いで「休日に粟生線を利用して外出する目的地がない」が31件で14.0%、さらに「利用することはできない」が12件で5.4%と続いている。



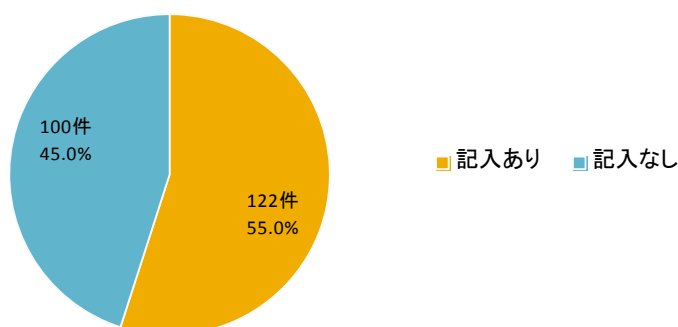
(ウ) 休日の外出（レジャーなど）において栗生線を利用できそうな頻度

「どの程度利用できそうですか？」については、「週に1回未満」が96件で67.1%と最も多く、次いで「週に1～3回」が14件で9.8%、さらに「月1回未満」が11件で7.7%と続いている。



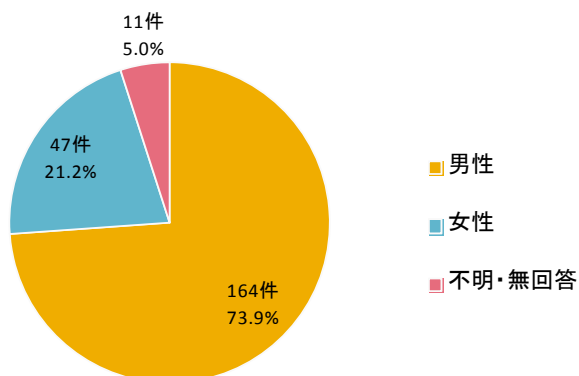
(エ) 栗生線を残す為にできること

「「栗生線」を残す為に、あなた自身はどんなことができそうですか。」では、「記入あり」が122件で55.0%、「記入なし」が100件で45.0%となっている。



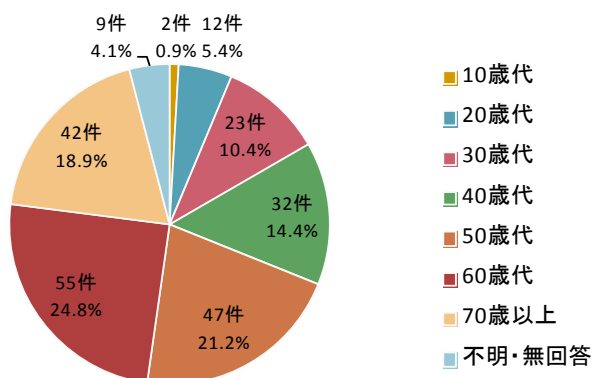
(フ) 回答者属性 性別

「性別」では、「男性」が164件で73.9%、「女性」が47件で21.2%となっている。



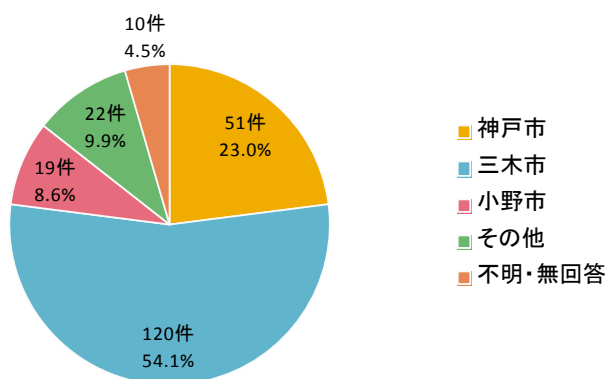
(ツ) 回答者属性 年齢

「年齢」については、「60 歳代」が 55 件で 24.8%と最も多く、次いで「50 歳代」が 47 件で 21.2%、「70 歳以上」が 42 件で 18.9%と続いている。



(テ) 回答者属性 居住地

「居住地」については、「三木市」が 120 件で 54.1%と最も多く、次いで「神戸市」が 51 件で 23.0%、「小野市」は 19 件で 8.6%となっている。



オ 目的別の粟生線利用増加見込み回数

外出目的（「平日の通勤・通学」、「平日の外出（買物・通院など）」、「休日の外出（レジャーなど）」）別に、粟生線を「利用できる／もっと利用できる」と回答した方の利用増加見込み回数の平均値を算出し目的別の純増回数を推計した。

目的	サンプル数	純増回数 (回／月)
通勤	39	4.98
平日の買物等	75	2.48
休日のレジャー等	122	1.69